

令和7年度(後期) おひさま認定こども園 教育及び保育活動への評価

園長:仲村由香 主任保育士:呉屋、富着

おひさま認定こども園は、保育の質の向上を図るため、当園の教育及び保育の内容等について、自己評価及び外部評価(保護者による評価)を行い、その結果を公表いたします。



《今後の改善、取組みについて》

今回の評価結果を踏まえ、園児一人ひとりの発達や経験の違いをより丁寧に理解し、個々に応じた教育・保育の充実に努めていきます。また、自然体験や遊びを通して子どもたちが主体的に学び、豊かな原体験を積み重ねていけるよう、活動内容や環境構成をさらに工夫していきます。

安全面においては、これまで実施している避難訓練をより実践的な内容にし、職員間の役割分担や保護者への連絡体制、引き渡し方法について共通理解を深め、災害時にも迅速に対応できる体制づくりを進めていきます。

また、職員一人ひとりが組織の一員として主体的に園運営に関わる意識を高めるとともに、園内研修や外部研修への参加を通して専門性の向上を図り、保育の質のさらなる向上に取り組んでいきます。

今後も保護者や地域の皆様との連携を大切にしながら、ご意見を真摯に受け止め、子どもたちの健やかな成長を支える園づくりに努めていきます。

達成(A) おおむね達成(B) やや不十分(C) 不十分(D)		
領域	評価項目	評価
重点目標	自然体験＝原体験を積み重ねる	B
	体づくり＝体軸体操.etc	A
	発達支援＝あいのうらいん(研修)	A
こども園における教育・保育	個々の発達や経験差を理解し、一人ひとりに合った適切な教育及び保育	B
	多様性へ配慮し、園児一人一人が伸び伸びと過ごし、安心して遊び、生活する	B
安全管理指導	災害発生に備え、防火設備、避難経路等の安全性を確保する	A
	備品、遊具等の配置、保管を適切に行い、日頃から安全環境の整備に努める	A
	災害発生に備え避難訓練を実施し、職員の役割分担、保護者等への連絡、引き渡し方法について連携を図る	B
保健管理指導	生活全体を通して健康や安全に関する管理や指導、食育の推進に努める	A
特別支援	個の状況に応じた支援方法を職員間で共有理解し、家庭や関係機関と連携を取りながら教育及び保育にあたる	A
組織運営	全職員が組織の一員として運営に参加することを意識し、資質の向上に努めている	B
研修体制	必要な知識及び技術の修得、維持向上を図るとともに、保育の課題等への共通理解や協調性を高め、保育園全体としての保育の質の向上を図っていく	B
教育環境の整備	定期的に安全点検を実施し、施設、設備の不備改善に努める	A
家庭との連携・協力	園児の日々の様子の伝達や収集、教育及び保育の意図の説明などを通して、保護者との相互理解を図る	A
学校との連携・協力	保幼小連携を円滑に行い、継続的な交流を計画し相互理解を深める	A
地域との連携・協力	地域の子どもが健やかに育成される環境を提供し、保護者に対する総合的な子育て支援を推進する	A

《保育関係者からのご意見・苦情について》

保護者より、協力依頼として配布された請願書について、提出を促されているように感じたため、配布や声かけの方法について配慮してほしいとのご意見がありました。

今後は、保護者の負担感や受け取り方に配慮し、任意での協力であることが明確に伝わる表現や説明を心がけ、丁寧な周知に努めてまいります。

今後も皆様からのご意見を大切に受け止め、より良い園づくりしていきます。